

事例

リモートを活用した工場見学、出前授業、体験型の食育の取組

一般財団法人 食品産業センター（東京都）

一般財団法人食品産業センターは、食品産業（食料品・飲料製造業）や関連する業界を網羅する116団体、食品事業者等約124社、地方食品産業協議会等約31団体を会員とする業種横断的組織ですが、国民（特に子供たち）への食品に関する理解醸成等の観点から、各事業者の食育を支援しています。

新型コロナウイルス感染症の影響下において、これまで行ってきた対面での様々な食育活動に制約が生じる中、令和2（2020）年から令和3（2021）年にかけて、各事業者は工場見学、出前授業、体験型食育等はオンラインに切り替えて実施しました。オンラインでの食育の取組の実施に当たっては、年齢に応じた食育プログラム、学習用教材を事前に送付し、体験しつつ学ぶコンテンツ等を作成するなど、事業者ごとに創意工夫がされています。

多くの参加者から「実際の工場見学では入れない所をオンラインで見ることができて嬉しかった。」「オンラインにもかかわらず、臨場感がよく伝わり、実際に工場見学をしているように参加できた。」等の感想が聞かれました。

オンラインでの食育は、場所にとらわれずに参加できるという良さがあり、対面での食育と並行して、画面を通して「体験」、「体感」を得られるコンテンツの作成に取り組んでいく予定です。今後も、食品事業者における食育に対する意識の向上を図るとともに、行政を始めとした様々な機関と連携して食育の活動に取り組んでいきます。



オンラインでの工場見学



オンラインでの出前授業